

北九州西部地区から小倉都心部へのルートの増加及び速達性が向上

- ・北九州市学術・研究都市周辺から小倉都心部への速達性が約20分短縮
- ・搬送時間が短縮するとともにルートの選択肢が増え、救急活動に貢献



搬送時間が短縮するとともにルートの選択肢が増え、救急活動に貢献



【北九州市内の第3次救急医療病院】

- ・北九州市立八幡病院
- ・北九州総合病院

心筋梗塞や重傷熱傷などの重症患者は、第3次救急医療施設に搬送される。現在、黒崎地区の第3次救急医療施設は、「北九州市立八幡病院」があるが、空き病床がない場合には、北九州総合病院まで搬送することとなる。

【所要時間の変化】



■国道3号 → 都市高(大谷出入口)利用
 ① 開通前 38分
 ② 開通後 23分
 約15分短縮 (39%)
 北九州総合病院



■国道3号 → 都市高(大谷出入口)利用
 ③ 開通前 41分
 ④ 開通後 27分
 約14分短縮 (34%)
 北九州学術・研究都市

※所要時間算出データ
 <開通前>: H22道路交通センサス
 <開通後>: 民間プローブデータ (H24.10)
 ※各拠点の基準位置
 ○北九州学術・研究都市: 塩屋(しおや)3丁目交差点
 ○折尾(おりお)地区: 則松(のりまつ)交差点

北九州市学術・研究都市周辺から小倉都心部への速達性が向上



【所要時間の変化】

■国道3号 → 都市高(大谷出入口)利用
 ① 開通前 52分
 ■主)有毛引野線 → 都市高(黒崎出入口)利用
 ② 開通前 49分
 ■黒崎バイパス→都市高利用
 ③ 開通後 32分
 約20分短縮 (38%)
 小倉都心部

黒崎バイパスが都市高速に接続して、スムーズな走行が可能になったので、出退勤時に所要時間短縮効果を実感しています。



周辺企業従業員

※所要時間算出データ
 <開通前>: H22道路交通センサス
 <開通後>: 民間プローブデータ (H24.10)
 ※各拠点の基準位置
 ○北九州学術・研究都市: ひびきの入口交差点
 ○小倉都心部: 小倉駅前交差点



消防署担当者

都市高速道への接続により、小倉方面への搬送を視野に入れることができるようになったと同時に、搬送ルートの選択肢が増え、ルート選択に迷いなくなりました。1分1秒を争う救急搬送の現場にとって大変ありがたいです。